



発行 宮崎県立高鍋高等学校 同窓会

宮崎県児湯郡高鍋町 大字北高鍋4262 TEL 0983・23・0005 FAX 0983・23・5096 URL http://www.narumigaoka.jp/

同窓生の皆様へ

高鍋高等学校同窓会「鳴海ヶ丘会」会長 岩切 正司



「鳴海ヶ丘会」の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また日頃より、同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成30年、恒例のOB祭は平成7年卒業の皆様を担当していただき「結(ゆい)」をテーマに岡本啓二実行委員長のもと、ゴルフコンペ、懇親会が開催されました。

ゴルフコンペも多数の皆様参加により盛況に開催され、翌日の総会も新役員の承認、明倫奨学生制度、今後の同窓会組織の在り方等、忌憚のない多くの意見を賜り、元来のやり方を維持継続しつつも改革と共に今後の同窓会活動に新風を取り入れなければならぬと考えさせられるものであります。

記念講演も脳科学者である茂木健一郎氏を講師としてお迎えし、これからの時代は学識、才能より個性が大事になる、また地方に居ても自分が中心になれる時代がやっていくべきかが問われる、という話を聞き感銘させられました。元号が変わってからの最初のOB祭も平成8年の卒業生の

皆様によって現在着々と準備がなされていきます。新元号のOB祭が盛会となるよう同窓会会員の皆様のご協力とご支援を宜しくお願い致します。

現在、高鍋高校への進学者が少なくない背景には少子化の進歩希望者が多くなっていることも事実です。文武両道、歴史と伝統の高鍋高校を復活させる為にも我々同窓会も今何を考え、何を行動していかねばならないかと考えます。

多くの中学生が高鍋高校へ目を向け、他の地区から高鍋高校への進学を目標とし、魅力ある高鍋高校でなければならぬと心から願っています。私も同窓会が高鍋高校が更に発展するよう責任をもちて側面から応援していきたいと考えています。

高鍋高校の歴史と伝統を大切に守り、誇りをもって次世代へ引き継いでいかなければなりません。これからも同窓会会員の親睦はもとより、学校、地域に貢献し、役立つ誇りある同窓会として活動していきたいと考えています。

2019年度OB祭について

事務局長 北川 茂麗

2019年度OB祭を担当します平成8年卒業生を代表し、一言ご挨拶申し上げます。私たちは、昨年5月に準備委員会を発足し、組織体制等について協議を重ね、7月に実行委員会を正式に設立いたしました。その後、名古屋・福岡・宮崎・川南各支部における総会等に出席させていただきました。高鍋高校の歴史と先輩方の絆の深さに感銘を受けたところです。

さて、私たちは1月2日(水)に同窓会を開催し、当時の先生方や久しぶりに会う同窓生と楽しいひとときを過ごすことができました。同じ時間を共に過ごした仲間と集まることで、OB祭という目標について意識高揚を図ることができたと感じております。

私たちのテーマは「成る」時代を次代へです。平成という時代が終わり、新たな元号を迎えるなかで行われる今年の高鍋高校OB祭に向け、平成8年卒同窓生がともに成長を続けながら、一致団結して精一杯取り組んでまいりたいと考えております。

今後とも、一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年度高鍋高校OB祭実行委員会役員名簿 table with columns: 番号, 役職, 氏名

支部総会報告

福岡支部総会報告

福岡支部 事務局長 原 誠子

福岡支部総会は11月23日(金)、平和楼天神本店で開催しました。今回は日程が三連休と重なるため、通常なら11月の最終土曜日に行うのですが今回は金曜日に設定しました。参加人数は前回に比べ、若干の人数増で44名の皆様が出席されました。児玉校長、新役員の岩切会長や榎室事務局長に、現在の母校についての様子等についてお話を聞かせて頂きました。その後、支部活動報告・会計報告等を行い総会は無事に終えることができました。



名古屋支部総会報告

名古屋支部 支部長 福本 秀和

平成30年度の名古屋支部総会を、11月10日にアパホテル名古屋栄店1階「ステーキ&ハンバーグ」にて、29名の参加で行いました。当日は高鍋より、岩切・増田の鳴海ヶ丘会新田会長、児玉学校長、藤本監事に、新旧のOB祭実行委員の方々、更に在京同窓会久保副会長と関西同窓会都留会長もご出席いただきました。



宮崎地区支部合同総会報告

宮崎支部 支部長 緒方 克則

宮崎地区は、宮崎地区支部(緒方克則支部長、宮崎県庁支部(野口和彦支部長、宮崎市役所支部(河野重臣支部長)が合同で母校の支援と卒業生相互の世代を超えた交流、情報交換等を目的に、平成19年から宮崎地区支部合同総会を開催してまいりました。また、寄付金募集など母校の支援事業に取り組み、実績を上げてまいりました。



川南支部総会報告

川南支部 支部長 宮崎 吉敏

平成31年1月26日、午後6時から、ホテル竹乃屋に於いて来賓に川南町長日高昭彦様、町議会議員川上昇様、川南町教育長木村誠様、鳴海ヶ丘会会長岩切正司様、高鍋高等学校校長児玉康裕様、事務局長榎室秀幸様をお迎えし、支部会員45名、30年度OB祭実行委員会7名、31年度OB祭実行委員会10名、総勢65名で盛大に開催致しました。





部活動実績

Table with columns: 大会名, 競技・部名, 競技種目, 成績, 学年, 氏名, 上位大会. Lists various sports events and winners.

全国大会を終えて

ラグビー部監督 檜室 秀幸

8年連続での花園出場となり今年こそ正月を花園で迎えよう、予選後の約40日間を順調にチーム力を高めて、全国大会に挑みました。目標はベスト8。組み合わせも例年に比べると非常に良いと誰もが思っていました。1回戦の相手は静岡聖光学院。簡単に勝てる相手ではない事、事実はみな分かっていたつもりでしたが、逆に勢いを持って行かれ、まさかの初戦敗退となりました。このチームは、実力があつただけに、勝たせてあげられなかったことが非常に悔しいです。もつともつと、彼らの試合が観たかった。全国で勝つことの難しさをあらためて感じた大会となりました。もうすでに新チームで始動していますが、高鍋ラグビーの原点復帰が必要と感じ、今回の悔しい敗戦を起爆剤に精進していきます。そしていつの日か、「高鍋高校ここにあり」と言われるよう、謙虚にひたむきに取り組んでいきたいと思えます。



全国将棋新人大会に向けて

将棋個人参加 2年 小野 由葵

夏に行われた全国高校総合文化祭(長野県)では、リーグ戦三勝二敗で予選落ちしました。全く不甲斐ない対局でした。反省を最大限に活かし、必ず決勝トーナメントに駒を進め、上位入賞を目指します。応援、よろしくお願ひします。



1年生野球大会優勝を経験して

1年生主将 野球部 岩切 航平

私達は、1年生大会で4年ぶりに優勝することが出来ました。初戦は日章学園戦でしたが、序盤から自分たちの野球が全く出ずにコールド負けも頭をよぎるような試合展開でした。一時は8点差あった崖っぷちから、投打とも息を吹き返し、7回に追いつき、一気に逆転し勝利しました。今振り返ると大会中、一番苦しかった初戦を勝利出来たことで勢い付くことが出来たんだと思います。大会中は山本監督をはじめ菊野部長や久保田先生、寺田先生の指導と先輩達の最高



全国高文祭に向けて

写真部2年 大窪 菜里

他県の写真部と交流できる初めての機会です。レベルの高い写真を見ることができ、新しいものの見方、撮り方に出会えると思います。撮影会や交流会を通して、自分の技術を高めるとともに、楽しみながら新しい技術も身に付けていきたいです。

写真部2年 高木 佳奈

全国高文祭では、写真の技術や構図の考え方などのより高い能力が要求されると思います。大会までの期間、それらの技術や能力を身に付け、自分の意図した写真を撮る事ができるよう、多くの事を学び吸収していきたいです。



県高校総合文化祭金賞「Who am I」



県高校総合文化祭金賞「雄大な静けさ」

事務局からの連絡

※寄付者の公表は、同窓会支部、OB祭実行委員会、卒業生一同様に限らせて頂いております。企業及び個人の寄付者の公表は行っておりません。

① 高鍋信用金庫 銀行名 高鍋信用金庫本店 (店番7001) 口座番号 1360949

② ゆうちよ銀行 銀行名 ゆうちよ銀行 口座番号 01700-9-141513

加入者名 宮崎県立高鍋高等学校 同窓会「鳴海ヶ丘会」

※寄付金から手数料を差し引いた金額をお振り込みになるか、事務局が用意いたしました専用払込取扱票をご利用ください。

なんきんはぜ

本校に赴任して二年。本執筆も二度目となる。一度目の私の「なんきんはぜ」を読んでもださった方からの電話が忘れられない。「かよこちゃん、鍋高同窓会の会報誌見たよ。母校でがんばってね。」ハッピーのおばちゃんからの激励の電話である。以前、実家の隣に住んでおられた方で、ハッピーは愛犬の名前である。幼少の頃から大変可愛がっていた。昨年、急に他界された。短歌、書道、舞踊が好きで、いつも凛として美しい人だった。一度目の執筆から私は成長しただろうか？もし今の私の様子を見たら、おばちゃんはどうのような言葉をかけてくださるだろうか？

伝統校にきて考えることは、「不易」と「流行」。世の中が目まぐるしく移り変わる「流行」の中で、「不易」なものとは何かを求め続けること。そこから本質を見極めることができれば、新しい道も開拓できるのではないか。年号も改まる。母校への恩を忘れず、変化を恐れず、チャレンジ精神で臨んでいきたい。今の私を見て、ハッピーのおばちゃんだったら、きつとこのように言葉をかけてくださると思う。「鍋高卒の誇りを胸に、大きく羽ばたいてくださいね。」今春の卒業生へ同じ言葉を送ります。高鍋高校生としての三年間は、一生の宝物です。 岩切佳代子

